農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

昭和五年八月

臺中州立農事試驗場要覽

（出版第四十一號）

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

耐鹽性交配育成種「紅鬚格仔」

臺中州管内ノ沿海岸地方ニハ紅鬚(アカヒゲ)ト稱スル赤米種ヲ栽培セリ蓋シ同地方一帶ノ水田ハ屢々海水ノ浸入ヲ受クル爲メニ普通白米種ノ生育不良ナルモ本種ハ能ク之ニ堪ヘ又其ノ具備セル長芒ハ同地方ノ激甚ナル季節風下ニアリテ脫粒ヲ免カルヽヲ以テナリ、雖然本種ハ販賣用米トシテ不利ナルノミナラス之ノ栽培ハ一般白米種ニ赤米ノ混入スルノ虞アリ米種改良事業上ノ一大障碍タルヲ以テ明治四十三年以降同事業ノ附帶トシテ多數品種ヲ蒐メテ試作シ適種ノ發見ニ努メシカ遂ニ成功スルニ至ラサリキ。本場ハ更ニ其ノ目的ヲ達センカ爲メニ大正五年比較的海岸地帶ニ栽培セラルヽ白米種格仔(カクシ)ト右紅鬚種トヲ交配シ爾來選擇ヲ行ヒ外觀紅鬚ニ近似シタル耐鹽性適種ヲ育成シ既ニ配布ヲ了シタリ

A　白米種格仔(親)

B　交配育成種

C　赤米種紅鬚(親)

農業部農業試驗所典藏、
由國家圖書館數位化

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

臺灣米ノ化學的鑑定法

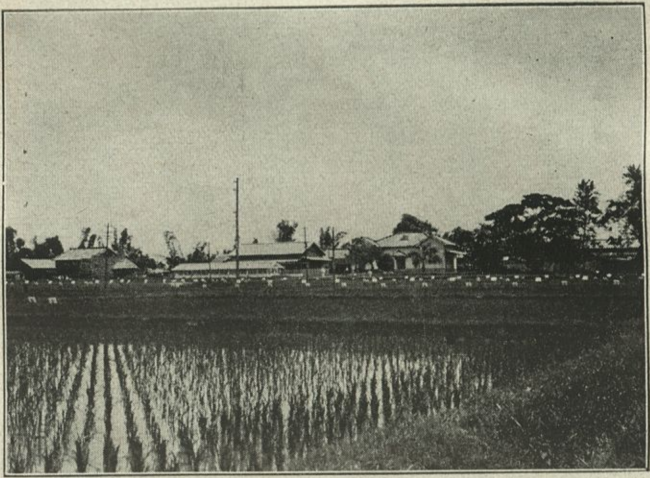
蓬萊種米ノ好況ニ連レ密カニ之ニ在來米ヲ混淆シテ不正利得ヲ收メ臺灣產米ノ聲價ヲ失墜セシムルハ嚴ニ取締ヲ要スルコトナルカ如何セン肉眼鑑定ニテハ決定的斷案ヲ下シ難キ場合アリ本場ハ研究ノ結果玄米外皮カ藥物ニ對スル反應ニヨリ簡單ニ在來米ヲ檢出スル方法ヲ案出シタリ。

右ハ蓬萊米左ハ在來種ノ藥物ニ對シ反應セルモノ

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

臺中州立農事試驗場全景

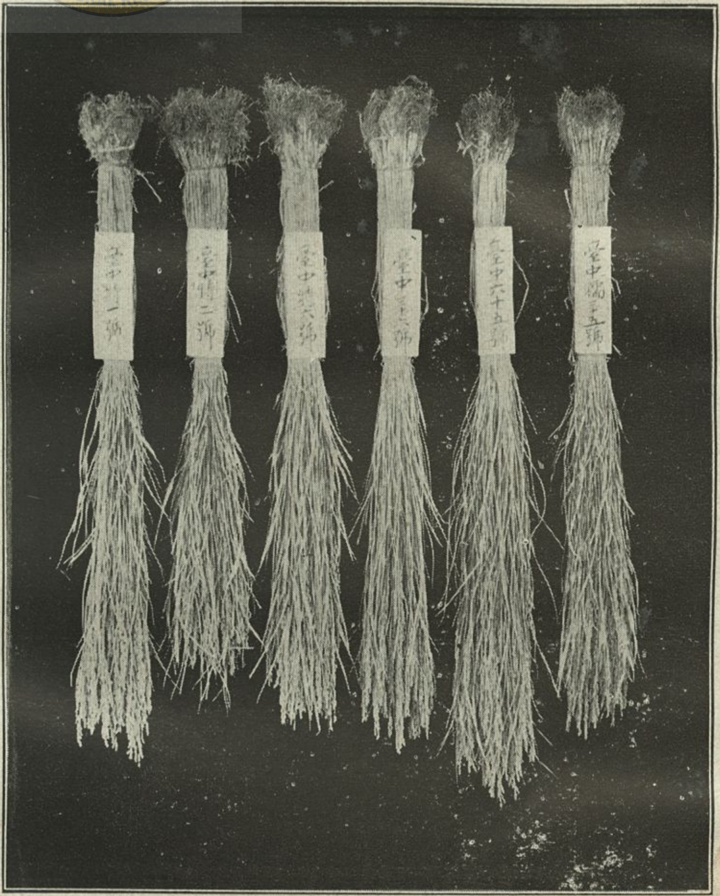
本　場



分　場

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

本場育成ノ内地種



内地種ヲ本島ノ第一二期作ニ栽培シテ在來種ヨリモ収量多ク且ツ安全ナル作物ト認メラルヽニ至リタルハ多数ノ原因アリト雖モ要スルニ本場研究ノ結果タル幼苗ヲ植付テ稲ノ生育期間ヲ長カラシムルコト及生育期間長キ適種ノ選出セラレタルニ因ル。

本場ハ多年交配、偶然變異、系統分離ニ據リ内地種ノ改良ヲ行ヒ育成セシ品種少ナカラス寫眞ハ本場育成ノ優良品種ナリ

TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

本場育成ノ球莖甘藍

球莖甘藍ハ本島ニ於テ採種不能ニシテ極メテ稀ニ結蕾スルコトアルモ抽出不充分ニシテ僅カニ五寸乃至一尺ニ過キス隨テ之ヲ栽培セントセハ年々種子ヲ移入セサルヘカラス本場ハ多年之カ採種ヲ目的トスル品種ノ改良ヲ行ヒ其ノ目的ヲ達シタリ本種ハ抽蕾三四尺ニ及ヒ採種量多ク結莖歩合90%以上ヲ示セリ。

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

花椰菜臺中第二號

原種ハ木立花椰菜ミツケルマスホワイト種ニシテ本場ニ於テ多年倭生ニシテ採種量多ク系統ヲ選出セルモノナリ。

本種ハ結實可良ニシテ結蕾100 %ヲ示セリ本場生產ノ種子ハ大正十一年以降每年內地各縣農事試驗場ニ試作ヲ依賴セシ結果頗ル好評ヲ博セリ寫眞ハ本場採種圃ニ於ケル開花ノ狀況ナリ。

廻轉稲扱機ノ補助器

本島ニ於ケル稲扱ノ方法ハ刈取リト同時ニ打落器ヲ圃場ノ彼所此所ト引廻シテ脱穀スル習慣アリ而シテ此ノ習慣ハ本島天候ノ關係上俄カニ廢シ難キ事情アリ隨テ優良ナル廻轉稲扱機モ内地製其儘ニテハ利用シ難キ憾アリ本場ハ此點ニ關シ研究ノ結果簡單ナル補助器ヲ考案シ之ヲ取付ケテ本島ノ習慣ニ適セシメ本島ニ於ケル廻轉稲扱機利用上當業者ニ多大ノ刺戟ヲ與ヘタリ寫眞ハ補助器ヲ取付タル廻轉稲扱機。

深耕技術講習

地力増進ノ目的ヲ以ツテ大正十三年度ヨリ米農及蔗農中ノ希望者ニ對シ深耕技術ノ講習ヲ開始シ磯野式深耕犂ニ就キ毎期三名宛入場セシメツヽアリ終了者八十七名ニ達セシカ昭和二年度ヨリ新タニ四千餘圓ノ州費ノ配賦ヲ受ケ二名ノ教師ヲ傭入レ毎期十名以上宛一ケ年ヲ通シ七百五十名ノ豫定ニテ講習ヲナシツヽアリ

臺中州立農事試驗場要覽目次

1 位　置……1
2 沿　革……1
3 組　織……2
4 既往ノ主ナル成績……2
　1 稻品種試驗……2
　2 稻植付株數試驗……2
　3 臺中水稻特性調査……2
　4 水稻三要素試驗……2
　5 土糞對大豆粕肥効試驗……3
　6 稻苗ノ性質ニ關スル研究……3
　7 稻育種……3
　8 臺灣稻ノ分類……3
　9 耐鹽性白米種交配育成……4
　10 稻育種實行上ニ關スル各種調査研究……4
　11 各種蔬菜ノ試驗試作……4
　12 蔬菜育種……5
　13 蔬菜採種……6
　14 麥育種……7
　15 內地稻ノ改良種育成……7
　16 種豚育成……9
　17 豚種付……9

18 育雛……9
19 種卵配付……9
20 磯野式深耕犂ノ改良……9
21 廻轉稻扱機用補助器ノ考案……10
22 臺灣米ノ化學的鑑定法ノ案出……10
23 籾摺臼ノ改良……11
24 萠芽法ノ研究……12
5 昭和五年度事業要項……14
6 經費豫算……18
7 技術員養成……19
8 深耕技術講習……19
9 圃地面積……19
10 建物名稱及坪數……20
11 職員竝傭員現在數……20
12 臺中州立農事試驗場規程……20
13 臺中州立農事試驗場長委任規程……22
14 臺中州立農事試驗場處務細則……23
15 見習生規程……28
16 種苗配付規程……28
17 出版物目錄……29
18 職員……31

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

臺中州立農事試驗場要覽

1 位　　置

臺中州立農事試驗場ハ臺中市新高町ニ在リ臺中州廳ヲ距ル北方一、七粁臺中停車場ヲ距ル西北一、七粁ニシテ臺中市ノ北端ニ位ス本場ノ北方一、一粁ノ地タル大屯郡北屯庄ニ分場ヲ設ケリ(新移轉地ハ市內後龍子ノ西端臺中停車場ヲ距ル西三粁臺中州廳ヲ距ル西二粁ノ地トス)

2 沿　　革

本場ハ明治三十七年元臺中廳農會ノ創設ニ係リ農場ナル名稱ノ下ニ專ラ作物ノ試驗試作ニ從事セシカ明治四十三年八月現場ニ移轉シ林業苗圃、蠶業、家畜、家禽ノ飼養ヲ加ヘ其ノ內容ノ充實ヲ圖リタリ大正四年更ニ大屯郡北屯庄ニ於テ稻ノ育種ヲ開始シ大正五年事務分掌內規ヲ制定シ農藝、育種、林業、蠶業、畜產、庶務ノ六部ニ別チテ各事業ノ範圍ヲ明ニシ大正六年農會試驗場ト改メタリ大正十三年四月十六日州ノ經營ニ移リ臺中州立農事試驗場ト改稱シ昭和四年四月畜產部ハ臺中州農會ニ移管セリ而シテ輓近臺中市街ノ發展ニ連レ長ク本場カ現地ニ留マルヲ許サヽルノ情勢トナリシヲ以テ昭和五年度ヨリ二箇年計劃ヲ以テ市ノ西端後龍子ニ移轉中ニアリ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

3 組　　織

1 農藝部 { 本場 / 分場 }

2 庶務部 { 庶務係 / 會計係 }

4 既往ノ主ナル成績

1 稻品種試驗

大正二年ヨリ大正五年迄ニ於テ元臺中廳下稻種第一期作四十一品種第二期作二十九品種ニ就キ品種試驗ヲ行ヒ其優劣ヲ明ニシタリ

2 稻植付株數試驗

明治四十四年ヨリ大正二年ニ至ル三箇年ニ於テ之ヲ行ヒ在來法ヨリ幾分密植スルヲ有利トスルヲ確メタリ

3 臺中水稻特性調查

大正五年臺中產水稻第一期作五十品種第二期作四十九品種ノ個性ヲ調查シ之ニ既往ノ各種調查結果ヲ綜合シテ臺中水稻特性ヲ編纂シ稻種改良上ノ參考ニ供シタリ

4 水稻三要素試驗

水稻ニ對スル三要素補充量ノ決定ハ各種肥料試驗ノ基本トナルヘキモノナレハ大正五年ヨリ大正九年迄本試驗ヲ施行シ窒素ノ補充量最モ大ナルヲ要シ燐酸加里之

ニ亞クコトヲ確メタリ尚各種試驗ノ綜合竝ニ調査ニ據レハ臺中市ヲ中心トシテ南行スルニ從ヒ燐酸ノ效果著シク北部ニ行クニ從ヒ之ニ反スルノ傾アリ

5 土糞對大豆粕肥効試驗

州下員林地方ニ於ケル養豚ノ發達セル所ニアリテハ肥料用大豆粕ハ一旦豚飼料ニ供シ其排泄物ヲ土糞トシテ施用スル習慣アリ學理上極メテ經濟的方法ニ屬シ一般ニ推奬スヘキ事項ト認ムルヲ以テ更ニ具體的結果ヲ得ンカ爲メ大正七年ヨリ大正九年迄該土糞對大豆粕ノ肥效試驗ヲ行ヒ相當有利ナルコトヲ確メ得タリ

6 稻苗ノ性質ニ關スル研究

大正八年ヨリ同十三年迄稻苗ノ性質ニ關スル試驗ヲ行ヒ苗ノ性質若キモノハ稻ノ生育期間ヲ長カラシメ隨テ株張、草丈ヲ大ナラシメ且ツ出穗ヲ齊一ナラシムルコトヲ知リ得タリ本島平地ニ蓬萊種米ノ栽培ヲ見ルニ至リタルハ本研究ノ應用セラレタルニ外ナラス

7 稻育種

大正四年ヨリ大正八年迄ニ於テ臺中産水稻第一期作五十品種第二期作五十品種ノ系統分離法ニ據ル育種ヲ行ヒタリ（稻育種事業第一輯乃至第四輯參照）之カ成績ハ四十五箇所ノ地方試作總平均第一期作一割二分、第二期作一割一分ノ增收ヲ示セリ

8 臺灣稻之分類

大正七年臺灣ニ於ケル水稻四百二十種ニ就テ個性ヲ調査シ之ニ大正四年以降實施シタル稻育種ノ結果ヲ綜合シ臺灣稻ノ分類ヲ編纂シ臺灣ニ於ケル水稻育種實行上ノ參考ニ供シタリ

9 耐鹽性白米種交配育成

州下大甲、彰化二郡管內ノ海岸地方ニハ紅鬚ト稱スル赤米ヲ栽培シ該地ニ白米種ヲ栽培スルモ生育不良ニシテ利益薄シト稱セラル而シテ赤米ノ栽培ハ延テ赤米カ白米ニ混入スル虞アリ米種改良上ノ一大障碍タリ本場ハ外觀紅鬚種ニ近似シタル耐鹽性白米種ヲ育成センカ爲メ大正五年比較的海岸地帶ニ栽培セラルル白米種格仔ト紅鬚トヲ交配シ爾來選擇ヲ繼續シテ其ノ目的ヲ達シ大正九年ヨリ大正十二年迄赤米產地ニ於テ地方試作ヲ行ヒシニ可良ナル成績ヲ得タリ本種ハ一面大正十一年度ヨリ原種ノ蕃殖ヲ行ヒシヲ以テ大正十二年度ニ於テ栽培地ノ全部ニ普及シ赤米ノ栽培ヲ根絕シタリ

10 稻育種實行上ニ關スル各種ノ調查研究

大正四年以降稻育種實行ノ傍ラ各種ノ事項ヲ調查研究シ本事業遂行ノ資料タラシメタリ現今各州農會ニ於テ稻育種方法中本資料ヲ採用セルモノ多シ

11 各種蔬菜ノ試驗試作

開設以來外國、內地產等ノ優良蔬菜ヲ試驗試作シ之カ栽

場市ノ菜蔬良優テ於ニ下州今現リタヒ行ヲ究研ノ法培
果結ルタレラセ用應ノ究研本ハルタリ至ニヽルハ現ニ
スラナ外ニ

12 蔬菜育種

內外國優良蔬菜ハ試作ノ結果州下ニ適セルモノ尠カラス
雖モ二三種ヲ除クノ外概ネ採種困難ニシテ爲メニ每年
其ノ種子ヲ原產地ニ仰カサルヘカラサルノ狀態ニアリ
テ堅實ナル蔬菜栽培ノ發達ヲ期スル能ハサルヲ以テ本
場ハ大正五年以降之等各種ノ本島ニ於ケル採種ヲ目的
トスル品種改良ヲ行ヒ既ニ其目的ヲ達シ每年採種ノ上
配付用ニ供セルモノ尠ナカラス

イ花椰菜臺中第二號種　元總督府農事試驗場ヨリ木立
花椰菜「ミツケルマスホワイト」種ノ配付ヲ受ケタルモ
ノヲ大正五年ヨリ大正九年迄每年倭生ニシテ結蕾可
良且ツ採種量多キコトヲ目標トシテ系統別ニ選擇シ
タルモノナリ本種ハ其目的ヲ達シ木立ノ名稱ヲ廢シ
單ニ花椰菜ト稱スルヲ適當ト認メ第二號ト名付ケタ
リ本種ノ內地各縣ニ於ケル試作ノ成績ハ別項ノ通リ

ロ葱臺中第四號

原種ハ根深種ニシテ最初抽薹極メテ尠ナカリシモノ
ノ內ヨリ大正五年抽薹セシ個體ヲ採種シ翌年ヨリ抽
薹ノ狀態、收量、品質、耐病性ヲ目的トスル系統分離試

驗ヲ行ヒ大正八年選出シタリ本種ハ原種ニ比シ品質收量毫モ劣ラズ抽薹スルモノ多ク採種量多シ

ハ球莖甘藍第一號竝第二號

原種ハ1%內外抽薹スレ共五寸乃至一尺ノ抽出ニ過キズシテ採種殆ンド不能ナリシカ大正七年僅カニ採種シ以後每年累積栽培シテ結球容易抽薹優レタルモノヲ選擇シ現今ニ於テハ結球抽薹共ニ90%以上ニ進ミ抽薹ノ高サ三尺以上ニ及ヒ採種量多ク完全ナル開花ヲ視ルニ至レリ本種ハ白莖種ニシテ白花及黃花ニ分離シ第一號ハ白花第二號ハ黃花トス

13 蔬菜採種

育成シタルモノ及採種可能ノ蔬菜ハ純粹ニ保存スルト共ニ採種栽培ヲ行ヒ配付用ニ供シタリ各年ノ種類別採種量次ノ如シ

年次	花椰菜第二號	葱第四號	茄子	オクラ	球莖甘藍第一號	球莖甘藍第二號	茼蒿	人参	トマト
	合	合	合	合	合	合	合	合	合
大正十年	30	40	…	…	…	…	…	…	…
同十一年	7	20	20	400	…	…	…	…	…
同十二年	140	100	30	…	…	…	…	…	…
同十三年	40	40	32	…	5	…	…	…	…
同十四年	33	29	50	…	10	6	30	…	…
昭和元年	97	9	15	…	5	…	20	…	…
同二年	36	15	19	…	10	…	…	20	5
同三年	150	15	14	20	25	…	30	20	10
同四年	50	20	32	50	8	8	10	25	17

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

右ノ内花椰菜第二號ハ大正十二年以降毎年全國各縣公私立農事試驗場ニ試作方依頼セルカ成績ノ判明セルモノ次ノ如シ

農林省園藝試驗場	當場ニテ栽培セルモノハ病害ヲ受ケ成績不明ナレ共附近當業者ニ配付セルモノニ付キ聞クトコロニヨレハ頗ル好評ナリ
大分縣農事試驗場	有望當地栽培家ノ希望スル所
山口縣農事試驗場	花球ノ發生狀況良好ナレトモ寒害ヲ蒙リ腐敗セルモノ多カリキ播種ヲ晩クスルカ又ハ海岸部ノ溫暖ナル地方ニテハ有望ナラム
秋田縣農事試驗場	不明當地ニテハ秋蒔總テ不適
山梨縣農事試驗場	頗ル有望
廣島縣農事試驗場	今少シク早ク播キ定植ノ時期ヲ早クスルトキハ相當ノ成績ヲ見ルモノト信ス
青森縣立農事試驗場	花球頗ル緻密ニシテ從來栽培セルモノニ比シ頗ル有望
岩手縣立農事試驗場	頗ル成績良好
立花家農事試驗場	成績極メテ良好

14 麥育種

大正六年以降大小麥ノ系統分離ヲ行ヒ（麥育種事業第一輯乃至第三輯參照）優良系ヲ選出シ既ニ前年度ニ於テ一般農家ニ配付シタリ生產比較試驗ノ結果小麥ノ最良型收量ハ在來種ニ比シ二割大麥ハ四割ノ增收ヲ示シタリ

15 內地稻ノ改良種育成

大正五年以降內地稻種ノ偶然變異ヲ利用シ州下ニ適當ナル新品種ノ育成ヲ行ヒ既ニ地方試作及配付ヲ行ヘルモノアリ

イ 臺中第一號乃至第六號

愛國種中ヨリ草丈高キ各變種ヲ選出セルモノ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE

ロ臺中第七號

大稻種中ノ草丈高キ變種ヲ選出セルモノ

ハ臺中第八號乃至第十八號

雄町種中ノ草丈高ク晩熟ノ變種ヲ選出セルモノ

ニ臺中特一號（大正十二年第一期作選出）

日之出系統ヨリ稻熱病ニ對シ抵抗强キモノヲ選出セルモノニシテ第一期作ニ適シ現在州下ニ栽培サルル第一期作內地種中最モ栽培面積廣シ

ホ臺中特二號（大正十二年第二期作選出）

神力系統中ヨリ晩熟ニシテ多蘗性ノモノヲ選出セルモノニシテ第二期作ニ適シ現在州下ニ栽培セラル丶第二期作內地種ノ約六割ヲ占ム

ヘ臺中特六號（大正十三年第一期作選出）

有芒朝日ヨリ無芒ニシテ稻熱病ニ對シ抵抗强キモノヲ選出セルモノニシテ第一期作ニ適ス

ト臺中一一號（大正十五年第一期作育成）

臺中特七號ト臺中特二號トノ交配種ニシテ稻熱病ニ對シ抵抗强ク第一期作ニ適ス

チ臺中三六號（大正十五年第一期作育成）

中村ト臺中特二號トノ交配種ニシテ稻熱病ニ對シ抵抗强ク第一期作ニ好適ス

リ臺中六五號（昭和元年第二期作育成）

龜治ト神力トノ交配種ニシテ稻熱病ニ對シ特ニ抵抗

強ク第一期作第二期作共ニ甚タ好適シ州下ニ於ケル
栽培面積急速ニ擴張シツヽアリ

又臺中糯三五號（昭和元年第二期作育成）
都ト正頭鵞卵朮トノ交配種ニ更ニ臺中特二號ヲ交配
セルモノニシテ第一期作第二期作共ニ好適ス

16 種豚育成

本場ハ臺中州農會ノ豚種改良資料ニ供センカ爲大正十三年ヨリ昭和三年ニ至ル間「バークシヤー」種四百六十頭ヲ育成配付シ豚種改良ニ盡セリ

17 豚種付

本場ニ飼養セル「バークシヤー」種牡豚ヲ大正十年ヨリ昭和三年ニ至ル間臺中市及大屯郡管内ノ種豚八千九百十頭ニ牽引種付シ種豚ノ配付ト共ニ豚種ノ改良ニ盡セリ

18 育雛

本場ハ臺中州農會鷄種改良計劃ニ據ル種鷄ノ配付ヲ目的トシテ育雛ヲ行ヒ大正五年ヨリ昭和三年ニ至ル間五千二十一羽ヲ育雛配付シ鷄種ノ改良ニ盡セリ

19 種卵配付

本場生産ノ種卵ハ主トシテ孵化育雛用ニ供シタルモ其ノ剰餘卵ヲ大正五年ヨリ昭和三年ニ至ル間二萬四千九百六十九顆ヲ一般ニ配付シ育雛配付ト共ニ鷄種改良ニ盡セリ

20 礎野式深耕犂ノ改良

由來本島在來犂ハ深耕ニ適セス又精細ナル作業ヲ行ヒ難シ、明治四十年頃西洋犂ヲ奬勵セシ事實アルモ成功セサリキ本場ハ地力增進ト勞力ヲ省ク目的ヲ以テ多年犂具ノ改良ニ腐心セシカ偶々本島向ニ製作セル磯野式深耕犂ノ原理優秀ナルヲ認メ大正十一年以降製作者ト協力シテ之ヲ基礎トスル改良ヲ行ヒ年次進歩セル犂ヲ提供シタリ現時深耕熱ノ昇騰シタルハ本改良完成ノ結果ニ外ナラス本犂具ノ使用者又急激ニ增加シツヽアリ

21 廻轉稻扱機用補助器ノ考案

近時內地ニ於テハ稻ノ收穫ニ際シ勞力ヲ省略スル爲メニ廻轉稻扱器ヲ使用スルコト旺盛トナリ機械モ亦漸次精巧優良ナルモノ製作セラルヽニ至リタリ然ルニ本島ニ於ケル稻扱ノ方法ハ刈取リト同時ニ打落器ヲ圃場ノ彼所此所ト引廻シテ脫穀スル習慣アリ而シテ此ノ習慣ハ本島天候ノ關係上俄カニ廢シ難キ事情アリ隨ツテ優良ナル廻轉稻扱機モ內地製其儘ニテハ利用シ難キ恨アリ本場ハ此點ニ關シ研究ノ結果簡單ナル補助器ヲ考案シ之ヲ取付ケテ本島ノ習慣ニ適セシメ本島ニ於ケル廻轉稻扱機利用上當業者ニ多大ノ刺戟ヲ與ヘタリ

22 臺灣米ノ化學的鑑定法ノ案出 (大正十四年九月)

蓬萊種米ノ好況ニ乘シ密ニ價格ノ低廉ナル臺灣米ヲ混シテ不正利得ヲ收メ蓬萊米ノ聲價ヲ失墜セシムルハ嚴ニ取締ヲ要スルコトナルモ如何セン肉眼鑑定ニテハ決

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE

定的斷案ヲ下シ難キ場合アリ本場ハ蓬萊米及臺灣米ノ外皮カ藥物ニ對スル「パーオキシターゼ」反應ノ差異アルヲ發見シ進ンテ之カ簡單ナル處理法ヲ研究シ實用的檢出法タラシメタリ即チ「グワイアコール」飽和液五竰ニ對シ過酸化水素液五六滴ヲ注キ之ニ試料ヲ投スルトキハ2—5分間ニ臺灣米ノ外皮ハ赤褐色ニ變スルモ蓬萊米ハ著色セス而シテ實驗上ノ處理法ハ

1. 蓬萊米ハ未乾燥ノ場合ニハ臺灣米ト同様赤褐色ノ反應ヲ呈スルヲ以テ水分凡ソ13%迄乾燥スルヲ要ス一旦乾燥スレハ後ニ水分ヲ與フルモ反應ヲ呈スルコトナシ
2. 臺灣米ハ乾燥スレハ反應ノ進行遲延スルモ水分凡ソ13%以上ナルトキハ反應速ナリ
3. 仍テ蓬萊米及臺灣米ノ混淆セルモノ、鑑定ハ一旦乾燥シ更ニ水分ヲ補給スルヲ要ス
4. 水分補給ノ方法ハ魔法瓶ヲ用ヒ攝氏四十度內外ノ温湯ニ三十分間浸漬スレハ反應速ニ現ハレ且ツ顯著ニシテ鑑定容易ナリ

23 籾摺臼ノ改良

本島ニ使用セラルヽ石臼ハ籾摺ニ當リ外皮ヲ損スルカ爲メ商品的價値ヲ低下シ且ツ變質速ナリ島米聲價ノ上ラサルハ之ニ職由スルトコロ多シ本場ハ調查ノ結果ゴム臼ニ替ユルコトカ最モ有利ナルコトヲ認メ臺中農

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

業倉庫ト共同シテ其ノ實用價値並ニ利用ノ方法ヲ研究シ昭和二年九月成功シタリ爾來臺中農業倉庫ニテハ引續キ之ヲ使用シ昭和三年度ヨリハ彰化、員林ノ農業倉庫モ改造シ漸次一般籾摺業者モ之ニ倣ハントスル形勢ニアリ

24 蒴芽法ノ研究

州下第一期作ノ育苗ハ寒冷ナル時期ニ行フ爲播種セル籾ノ腐敗スルコトアリ又一旦發芽セル子芽モ急激ナル氣溫ノ變化ニ依リ折損消失スルコトアレハ種籾ハ充分蒴芽セシメテ播種シ苗ヲ迅速ニ強剛ナラシメ寒害ニ耐ヘ得ル樣育成スルノ必要アリ而シテ蒴芽ノ程度ニハ自カラ限度アリテ本場ノ研究ニ依レハ子芽ハ米粒(5mm)ト同長、子根ハ子芽ノ二倍前後ノ長サヲ最モ良トス然ルニ一般農家現行ノ蒴芽法ニ依ル蒴芽ハ極メテ不合理ナレハ本場ハ多年之カ研究ヲ行ヒ臺中式蒴芽法ナルモノヲ考案シ一般ニ其ノ勵行ヲ勸メツヽアリ昭和二年以降臺中州農會ノ原種蕃殖田ニ實行セシメシニ常ニ良結果ヲ擧ケ附近農家ノ之ヲ見習テ摸倣セルモノ尠カラス

之カ方法ハ次ノ如シ

1 浸水期間

四晝夜浸水トシ蒴芽開始ノ都合上午後五時浸水トス

2 蒴芽第一日

午後五時籾ヲ水ヨリ引揚ケ蒴芽容器(米籠,桶又ハ之ニ

類似ノモノ）ニ二斗位宛入レ攝氏五十度（此ノ温度ハ手ヲ温湯中ニ差入レル時ハ熱味ヲ感スルモ約十秒間位堪ヘ得ラレ又右十秒内ニテモ一旦手ヲ動カセハ最早堪ヘ得ラレヌ）ノ温湯ヲ籾半量如露ニテ注キツヽ攪拌シ灌湯ヲ了ラハ手早ク籾ノ上部ヲ古袋等ニテ覆ヒ容器内ノ温湯ヲ充分切リタル後室内ノ一隅ニ安置シ周圍及底部ヲ藁又ハ莚ノ類ニテ包ミ保温裝置ヲナス然ルトキハ灌湯後ノ籾ノ温度ハ發芽適温ノ攝氏三十度乃至三十五度トナル

3 萠芽第二日

午前九時　第一日同樣灌湯攪拌ス

午後五時　前同斷（籾ハ此ノ時既ニ發芽シ幾分自熱ヲ發生シ居ルヲ普通トス）

4 萠芽第三日

午前九時　籾ヲ攪拌スルノミトス此ノ時籾ハ既ニ適温ニ達シ居ルヲ常トス而シテ方法ヲ誤ツタ場合若シクハ氣温著シク低キ場合往々適温ニ達セサルコトアレハ適宜温湯ヲ灌注スヘシ又之ニ反シ適温ヲ超ユルコトアレハ蓆ニ擴ケ冷却スルカ冷水ヲ注キテ温度ヲ引下クヘシ

午後五時　此時前記標準ノ伸長ニ達セルヲ以テ容器ト共ニ水中ニ浸シ根芽ノ伸長ヲ阻止スヘシ若シ萠芽不充分ト認メタル場合ハ冷水ヲ注キ輕ク攪拌シテ伸長ヲ促スヘシ（此ノ場合温湯ヲ注ク如キコトアラハ適温ヲ超ヘ發芽伸長ヲ停止スルノ虞レアレハ注意スヘシ）

5 第四日

午前九時　播種用ニ供ス

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE

本法ハ温湯ヲ灌注シテ籾ヲ速カニ發芽適温ニ達セシメ一旦適温ニ達シタル後ハ其ノ適温ヲ保持スルコトニ勤メ發芽ヲ整一速カナラシムルコト及第三日午後五時ヨリ第四日ノ午前九時迄ヲ萠芽ノ豫備調節期間トシテ豫定セル播種月日ニ的確ニ播種シ得ルコトヲ主ナル要點トス

5　昭和五年度事業經營要項

1　稻苗ト稻ノ生育ニ關スル研究

稻ノ生育上稻苗ノ及ホス影響ヲ研究シ如何ナル性狀ノ稻苗カ優良ナルヤヲ決定セントスルニアリ

A　播種期對苗代日數試驗

B　苗代日數試驗

2　稻苗ノ養成ニ關スル研究

優良ナル稻苗ヲ養成センニハ如何ナル養成法ヲ講スルヲ可トスルヤヲ研究セントス

A　播種量ト苗ノ性狀トノ關係試驗

B　肥料用量、用法、用期ト苗ノ性狀トノ關係試驗

C　施肥量對播種量ト苗ノ性狀トノ關係試驗

3　氣象ト水稻ノ生育ニ關スル研究

氣温竝氣温系カ水稻ノ生育ニ及ホス影響ヲ調査シ如何ナル氣温狀態カ最モ適當ナルヤヲ研究セントス

A　植付季節ト稻ノ生育トノ關係試驗

B　中間作試作

C　豐凶考照試驗

4 水稻ノ特性ニ關スル研究

各品種ノ特性ノ發揮ニ就キ研究シ州下ニ於ケル適種選定ニ資セントス

A　品種試驗

B　品種試作

C　穗性調査

5 水稻ノ耕作法ト其ノ生育ニ關スル研究

各種ノ耕作法カ稻ノ生育ニ及ホス影響ヲ研究シ栽培法ノ改良ニ資セントス

A　植付株數對苗本數試驗

B　直播試作

6 肥料ニ關スル研究

各種肥料竝ニ其ノ用量用法カ稻ノ生育ニ及ホス影響ニ就キ研究セントス

A　窒素ノ肥效試驗

B　綠肥試驗

7 水田ノ地力增進ニ關スル研究

水田ニ於ケル地力ノ增進ハ如何ナル手段ニヨッテ達成セラルヽヤニ就キ研究セントス

A　深耕對有機質肥料ト稻ノ生育トノ關係試驗

B　深耕對施肥量ト稻ノ生育トノ關係試驗

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

8 土壤ニ關スル試驗

州下特殊土壤ニ就キ其ノ取扱法カ稻ノ生育ニ及ホス影響ヲ研究セントス

A　風乾土壤ト稻ノ生育トノ關係試驗

9 甘蔗ノ特性ニ關スル研究

各品種ノ特性ノ發揮ニ就キ研究シ中部水田ニ於ケル適種選定ニ資セントス

A　甘蔗品種試驗

10 移入品種ヲ基礎トスル稻ノ育種

從來ノ經驗ニヨレハ移入品種ニハ偶然變異ノ頻度比較的多シ隨テ之等ヲ選擇培養シ良型ノ選出ヲ行ハントス

A　變種選出

11 稻ノ交配育種

內地種ト在來種　內地種變種ト在來種　內地種ト內地種變種　內地種ト內地種等ノ交配ヲ行ヒ州下ニ適當ナル品種ヲ育成セントス

12 稻ノ保存

A　內地種保存

B　交配育成種保存

C　州下ノ代表的在來種保存

D　選擇系保存

E　特殊稻保存

13 蔬菜育種

州下ニ於テ採種困難ナル内外優良蔬菜ニツキ採種ヲ目的トスル品種改良ヲ行ヒ蔬菜栽培ノ發達ヲ期セントス

A 大根育種

B 球莖甘藍育種

C 甘藍育種

14 蔬菜採種

當場ニ於テ採種ヲ目的トシテ選出シタル蔬菜類及ヒ採種容易ナル内外蔬菜類ノ採種ヲ行ヒ配付竝ニ種子保存用ニ供セントス

A 花椰菜臺中第二號

B 葱臺中第四號

C 茄子

D オクラ

15 蔬菜試作竝採種

各種ノ蔬菜ヲ試作シ其ノ適否ヲ檢セントス

16 稻育種施行上必要ナル研究事項

A 分蘗稈長穗長ノ相關調査

B 稻ノ特性カ雜種形成中起ス現象調査

神力×烏米ニ就キ調査

C 耐病性調査

各種試驗ニ於テ稻熱病　菌核病　馬鹿苗病ノ調査ヲ行ハントス

17 施肥標準量査定試驗

中央研究所ト協力施行シ州下水田稻作ニ對スル施肥標準量決定ノ考査ニ資セントス

試驗地　豐原郡下

　　　　員林郡下

18 柑橘栽培法ニ關スル研究

昭和四年臺中州農會ニ於テ員林郡永靖庄ニ設置セル柑橘試驗園ヲ本年度ヨリ本場ニ移管セラレタルモノニシテ椪柑栽培上最モ重要ナル肥料ニ關スル事項ヲ主トシ之ニ關係セル剪定其他管理法ニ關スル研究ヲ行ハントス

6 經費豫算

經常部

試驗場費	55,019圓
俸給(廳費)	10,565
雜給	11,929
旅費	1,095
事務費	3,581
事業費	25,372
修繕費	1,852
施肥標準量查定費	625
柑橘試驗場費	3,798
試驗場費	3,798

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

臨時部	70,605
深耕技術講習費	3,550
營繕土木費(移轉費)	67,055

7 技術員養成

本場ハ大正五年以來每年甲種農學校出身ノ成績優等者ヲ若干名宛見習生トシテ採用シ滿一箇年間農藝一般特ニ育種ニ關スル技術ヲ實地ニ傳習セシメ終了ノ上ハ本場竝農會ニ就職セシメツヽアリ終了者數三十三名ニ達セリ

8 深耕技術講習

地力增進ノ目的ヲ以テ磯野式深耕犁ヲ本島ニ適スル樣改良セシメ大正十三年度ヨリ米農及蔗農中ノ希望者ニ對シ深耕技術ノ講習ヲ開始シ每期三名乃至五名宛講習シ終了者八十七名ニ達セシカ昭和二年度ヨリ新タニ四千餘圓ノ州費ノ配賦ヲ受ケ二名ノ敎師ヲ傭入レ每期十名以上ニ就キ五日間宛講習シ一ケ年ヲ通シ七百五十名講習ノ豫定ナリシカ昭和五年七月末迄ニ終了者二千二百二十七名ニ達セリ

9 圃地面積 (單位町)

總面積	圃地面積	同上內譯				
		本場	分場	甘蔗試驗地	深耕講習地	其他
15	11	5	5	1	2	2

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

10　建物名稱及坪數

名　　稱	坪　　數	摘　　要
廳　　舍	76.5	
事務所	127.8	
農　　舍	102.5	
倉　　庫	85.5	
肥料舍	31.5	
動力室	21.0	
萠芽室	4.5	
金網室	12.0	
乾燥室	10.5	
官　　舍	273.0	
硝子室	20.0	

11　職員竝傭員現在數（七月末日現在實際從業員ノミ計上）

部	產業技師	產業書記	產業技手	兼務技手	雇	計	囑託	傭
場長	1	…	…	…	…	1	…	…
農藝	…	…	4	2	4	10	2	21
庶務	…	1	…	…	1	2	…	2
計	1	1	4	2	5	13	2	23

12　臺中州立農事試驗場規程

第一條　臺中州立農事試驗場ニ於テ行フ事務左ノ如シ

1 農產ノ改良增殖又ハ加工ニ關スル試驗ヲ行フコト

2 種苗ノ育成及配布ヲナスコト

3 農事ニ關スル講習講話及質問應答ヲナスコト

4 農事ニ關スル調査及設計ヲナスコト

5 農事ニ關スル模範ヲ示スコト

6 土壤肥料農用器具機械種苗及農產物ノ鑑定又ハ分析ヲナスコト

第二條　臺中州立農事試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク但シ事務ノ都合ニ依リ州技師州屬州技手又ハ州書記ヲシテ兼務セシムルコトアルヘシ

場長	一名
產業技師	若干名
產業技手	若干名
產業書記	若干名

第三條　場長ハ理事官又ハ技師中ヨリ之ヲ命ス

場長ハ知事ノ命ヲ承ケ場務ヲ掌理ス

第四條　技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ業務ヲ分掌ス

第五條　技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ業務ニ從事ス

第六條　屬書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務及會計ノ事務ニ從事ス

第七條　場長事故アルトキハ上席職員其ノ事務ヲ代理ス

第八條　臺中州立農事試驗場ノ位置ハ別ニ之ヲ定ム

第九條　臺中州立農事試驗場場務規定ハ知事ノ認可ヲ受ケ場長之ヲ定ム

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

13　臺中州立農事試驗場長委任規程

第一條　左ノ事項ハ知事又ハ州ノ名ヲ以テ場長限リ之ヲ施行スルコトヲ得

1 判任官以下ノ職員ニ賜暇及島内轉地療養、看護歸省、旅行ヲ許可スルコト但シ公務旅行中ノ者ニ係ル場合ヲ除ク

2 判任官以下職員ニ除服出仕ヲ命スルコト

3 傭員ノ命免竝賞與ヲ行フコト

4 見習生採用ニ關スルコト

第二條　左ノ事項ハ場長又ハ場ノ名ヲ以テ場長限リ之ヲ施行スルコトヲ得

1 場務ニ關シ定例アルカ又ハ輕易ナル事項ニ付他官衙其他ト文書ノ照復ヲ爲スコト

2 職員ニ事務分掌ヲ命スルコト

3 判任官以下ノ職員ニ州管内ノ出張ヲ命スルコト

4 種苗ノ配布及試驗成績ノ普及ニ關スルコト

5 支出命令ヲ發スルコト

6 金錢、證券、物品ノ出納命令ヲ發スルコト

7 廳舍及官舍ノ保管上必要ナル小破修繕ニ關スルコト

8 宿舍ノ借上(定額ヲ超ユルコトヲ得ス)官舍宿舍ノ指定及宿舍料支給ニ關スルコト

9 恒例ニ屬スル一廉百圓以内ノ物品ノ購入及貸借ニ關スルコト

10 恒例ニ屬スル一廉百圓以内ノ勞力傭入及運搬ニ關スルコト

11 見積價格百圓以内ノ生産物賣却竝五十圓以内ノ不用品拂下ニ關スルコト

12 輕微ナル物品棄却處分ニ關スルコト

13 宿直ニ關スルコト

14 其他輕易ナル事項ヲ處理スルコト

14　臺中州立農事試驗場處務細則

第一章　場務分掌

第一條　本場ニ左ノ二部ヲ置ク

1 農藝部

2 蔗務部

第二條　部ニ於ケル業務左ノ如シ

農藝部

1 作物ノ品種改良ニ關スル事項

2 作物ノ試驗試作ニ關スル事項

3 作物ノ種苗鑑定ニ關スル事項

4 農具及土地改良ニ關スル事項

5 種苗配付ニ關スル事項

6 肥料及土壤ニ關スル事項

7 農産製造ニ關スル事項

8 害蟲益蟲及有害動物ニ關スル事項

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

9病害及有益菌ニ關スル事項

10見習生養成ニ關スル事項

庶務部

1勞力ノ傭入及物件ノ賣買貸借ニ關スル事項

2傭員ノ命免及監督ニ關スル事項

3會計ニ關スル事項

4場内ノ取締ニ關スル事項

5文書ノ編纂及保存ニ關スル事項

6圖書ノ整理及保管ニ關スル事項

7物品ノ整理及保管ニ關スル事項

8他部ニ屬セサル事項

第三條　左記事項ハ各其ノ主管ノ部ニ於テ之ヲ處理ス

1委託試驗ニ關スル事項

2講習講話ニ關スル事項

3試驗調査成績等ノ編纂刊行ニ關スル事項

4調査竝報告ニ關スル事項

5質問應答ニ關スル事項

6標本作製ニ關スル事項

第四條　各部ニ主任一名部員若干名ヲ置キ部務ヲ分擔セシム

第二章　處務心得

第五條　試驗方案ハ主任ニ於テ立案シ毎年十二月末日迄ニ場長ニ提出スヘシ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE

第六條　試驗終了シタル時ハ主任ニ於テ其ノ成績ヲ編纂シ場長ニ提出スヘシ

第七條　主任ハ毎年五月末日迄ニ前年度中ニ施行シタル業務功程ヲ場長ニ提出スヘシ

第三章　文書ノ取扱

第八條　本場ニ到達スル文書ハ庶務部ニテ收受シ收發簿ニ記載ノ上場長ノ檢閲ヲ經テ各主任ニ交付スヘシ

第九條　前條ノ文書其他ニシテ回覽ヲ要スルモノハ供閲印ヲ押捺シ回覽ニ供スヘシ

第十條　文書ノ處理ハ起案用紙ニ其ノ處分案ヲ記載シ關係員ニ合議ノ上場長ノ決裁ヲ受クヘシ

第十一條　決裁濟ノ文書ニシテ發送ヲ要スルモノハ庶務部ニ於テ淨寫シ收發簿ニ記入ノ上處理スヘシ

第四章　服務心得

第十二條　職員ハ毎日昇場時限ニ登場シ出勤簿ニ捺印ノ上事務ニ就クヘシ

第十三條　病氣ノ爲出勤シ能ハサルトキハ其ノ病名ヲ記シ屆出ツヘシ若シ缺勤五日ニ及フトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第十四條　看護歸省轉地療養又ハ賜暇旅行ヲ爲サムトスルトキハ旅行先及日數ヲ具シ願出ツヘシ但シ轉地療養ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第十五條　忌服セムトスルトキハ其屬系ヲ具シ屆出ツヘ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

シ

第十六條　出張中用務ノ都合又ハ他ノ事故ニ因リ豫定日數ヲ超過セントスルトキハ豫メ認可ヲ受クヘシ

第十七條　出張シタル者歸場シタルトキハ五日以內ニ復命書ヲ提出スヘシ

第五章　宿直心得

第十八條　技手書記雇ハ一名宛交代宿直スヘシ

第十九條　宿直ハ通常及休日ニ區別シ通常宿直ハ退場時刻ヨリ翌日登場時刻迄トシ休日日直ハ登場時刻ヨリ退場時刻迄トス

第二十條　宿直員ハ退場時刻後臨時ノ事務ヲ處理シ場內一切ノ警備ニ任スヘシ

第二十一條　宿直員ハ印箱、鍵箱其他宿直員ニ於テ管理スヘキ書類物件ノ保管ニ任スヘシ

第二十二條　宿直中收受シタル文書物件ハ終了後庶務部ニ引繼クヘシ但シ至急ヲ要スト認ムル文書ハ直ニ關係者ニ送付スヘシ

第六章　傭員ノ休暇

第二十三條　本場傭員ニシテ一箇月皆勤セシモノニ對シテハ一枚ノ休暇證ヲ付與ス新ニ採用シタル傭員ニ對シテハ採用ノ日ヨリ二箇月間前項ノ規定ヲ適用セス

第二十四條　休暇證ヲ所持スル者ハ事業ニ差支ナキトキヘニ限リ之ヲ提出シテ休業スルコトヲ得但シ一枚ニ付一

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

日トス

第二十五條　前ノ規定ニ依リ休業セントスル者ハ豫メ期日ヲ申出テ承認ヲ受クヘシ

第二十六條　休暇證ノ有效期間ハ發行ノ日ヨリ三箇月間トス

第七章　圖書取扱

第二十七條　購入又ハ寄贈ニ係ル圖書ハ臺帳及分類簿ニ記入整理スヘシ

第二十八條　臺帳及分類簿ニ記入シタル圖書ニハ番號用紙ヲ貼附スヘシ

第二十九條　雜誌類ハ雜誌臺帳ニ記入ノ上供覧シ一箇年毎ニ纒メテ圖書臺帳ニ登記スヘシ

第三十條　職員ニシテ圖書ヲ借用セントスル者ハ庶務係ニ申出テ規定ノ借用證ヲ提出ノ上受領スヘシ

第三十一條　貸付ノ期間ハ二週間以內トス

第三十二條　貸付シタル圖書ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第三十三條　圖書ヲ貸付シタルトキハ其書棚ノ同位置ニ書名著者及借受者名ヲ記入シタル用紙ヲ板ニ貼附シタルモノヲ挿入シ置クヘシ

第三十四條　返納セシ圖書ハ借用證ニ返納ノ印ヲ押捺シ前條挿入板ト置換スヘシ

第三十五條　貸付シタル圖書ハ丁寧ニ取扱ヒ毀損又ハ紛

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

失シタル場合ハ辨償スヘシ

第八章　附　則

本細則ニ規定ナキモノハ臺中州處務規程ヲ準用ス

15 見習生規程

第一條　本場ニ見習生ヲ置ク

第二條　見習生ノ定員ハ五名トシ毎年ノ採用人員ハ場長其都度之ヲ定ム

第三條　見習生期間ハ滿一箇年トス

第四條　見習生ハ左記各號ニ該當スル者ニ就キ採用ス

1身體强健品行方正意志確固タル者

2甲種農學校ヲ卒業シ在學中成績良好ニシテ當該學校長ノ推薦ニ係ル者

第五條　見習期間中ハ農藝一般ノ技術ヲ練習セシム

第六條　見習生ニハ手當ヲ支給スルコトアルヘシ

第七條　見習期間中成績優良ニシテ最終試驗ニ合格シタル者ニハ修得證書ヲ授與ス

第八條　見習生ニシテ左記各號ノ一ニ該當スルモノハ退場ヲ命スルモノトス

1素行修ラサル者

2成業ノ見込ナキ者

16 種苗配布規程

第一條　本場ハ優良種苗ノ普及ヲ計ラムカ為メ無償ヲ以

テ作物種苗ヲ配布ス

第二條　種苗ノ配付ハ當分ノ内臺中州農會ニ限ル但シ場長ニ於テ特ニ必要ト認メタル場合又ハ少量ノ作物種苗ハ此限ニアラス

第三條　臺中州農會ニ配付スヘキ種苗ハ毎年度ノ始ニ種類數量ヲ記載シタル願書ヲ提出セシメ育成ノ都度交付スヘシ

第四條　少量ノ作物種苗ノ配付ヲ受ケントスル者ニ對シテハ其種類數量ヲ記載シタル願書ヲ差出サシメ業務ニ支障ナキ範圍内ニ限リ之ヲ交付スヘシ

第五條　前項種苗ノ配付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ經過成績ヲ文書又ハ口頭ヲ以テ報告セシムヘシ

17 出版物目錄

1 稻育種事業	第一輯	大正五年十一月
2 稻育種事業	第二輯	大正六年五月
3 臺中水稻ノ特性		大正六年八月
4 稻育種生產力試驗執行方法書		大正六年八月
5 麥品種改良事業	第一輯	大正七年六月
6 稻育種事業	第三輯	大正七年六月
7 鷄種改良事業	第一輯	大正八年五月
8 稻育種事業	第四輯	大正八年六月
9 臺灣稻之分類		大正八年七月

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

10 麥育種事業　　第二輯　　大正九年四月
11 麥育種事業　　第三輯　　大正九年十一月
12 地方試作施行方法書　　大正九年十一月
13 大正十年度農事試驗年報　　大正十二年九月
14 米穀統計　　大正十二年十月
15 大正十一年度農事試驗年報　　大正十三年九月
16 大正十二年度農事試驗年報　　大正十三年十一月
17 臺中州立農事試驗場要覽　　大正十三年十二月
18 大正十四年度事業計劃書　　大正十四年一月
19 大正十三年度農事試驗年報　　大正十四年九月
20 臺中州立農事試驗場要覽　　大正十五年一月
21 臺中州立農事試驗場要覽　　大正十五年四月
22 臺中之米　　大正十五年四月
23 臺中ノ內地種米　　大正十五年四月
24 大正十四年度農事試驗年報　　大正十五年七月
25 生物ノ遺傳ト育種　　昭和二年二月
26 稻ノ出穗調查硏究　　大正十五年十一月
27 臺中州立農事試驗場要覽　　昭和二年二月
28 昭和元年度農事試驗年報　　昭和二年八月
29 臺中州立農事試驗場要覽　　昭和二年十月
30 水稻ニ於ケル株間距離一株苗數並總苗數ト收量構成的諸性狀ノ發揮　　昭和二年十月
31 昭和二年度農事試驗年報　　昭和三年八月

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

32	生物ノ遺傳ト育種（第二版）	昭和四年一月
33	蓬萊米ノ栽培法	昭和四年一月
34	水餅ノ作リ方	昭和四年一月
35	臺中州立農事試驗場要覽	昭和四年三月
36	育成優良品種（水稻）	昭和四年三月
37	臺灣ニ於ケル一頭曳犂具ニ就テ	昭和四年五月
38	昭和三年度農事試驗年報	昭和四年九月
39	耕耡法	昭和五年三月
40	昭和四年度農事試驗年報	昭和五年八月

18 職員

場長	產業技師	末永仁	
	州技手(兼)	川又勇	柑橘試驗
		桐野正雄	同
	產業書記	中越勇次郎	會計
	產業技手	西口逸馬	農藝
		山口重季	（勸業課勤務）
		大月晋一	農藝
		藪龜孟男	同
		津上勇	同
	雇	岩城一	庶務
		劉錦里	農藝
		廖明有	同

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

	王　金根	同
	余　慶東	同
	邱　創廉	柑橘試驗
囑託	今任萬太郎	深耕講習
	高橋半一	同

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895